



まき ほんよう
槇の本葉

上牧第三小学校 学校だより

2023(令和5)年
12月22日(金) 12月号(No.19)
発行責任者 大河内 渡



今年もありがとうございました

2023(令和5)年も、残すところあとわずかとなりました。コロナ禍における制限が緩和され、泊を伴う野外活動や運動会、そして広島への修学旅行など、4年ぶり行うことができた行事が多くありました。久しぶりにすべてのを終えることができました。これもひとえに、保護者や地域の方々、そして学校を陰となり日向となりサポートして下さる方々など、みなさまのおかげです。本当にありがとうございます。

今年の春に、私が掲げた目標は「用和為貴」でした。子どもたちが仲良く協力できるように支援することができているのか、しっかりと振り返り、3学期に臨みたいと思います。

どうか来年も、本年同様、みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。みなさまにとって来年も、幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

卯年(うさぎ)から辰年(りゅう)へ

卯年は、一説によると、兎(うさぎ)の飛び跳ねる姿から、飛躍・跳躍・向上の年とも言われますが、いかがだったでしょうか。子どもたちにとって、何か向上したものがあれば幸いです。

辰年は、一説によると、竜(龍・りゅう)が権力や隆盛の象徴であることから、活力旺盛になり大きく成長する年とも言われます。来年、子どもたちが元気に成長する姿が目に見えます。

ところで、「飛兎竜文(ひとりゅうぶん)」という兎と竜が入っている四字熟語をご存じでしょうか。

「飛兎」と「竜文」は、どちらも非常によく走る昔の馬の名前だそうで、転じて、「才能のあるすぐれた子ども」のことを表すようになったそうです。

子どもはみんな「飛兎竜文」です。みんな何かしらのすぐれた才能を持っています。いつかその才能が開花するよう、小学校で基礎基本を身につけて欲しいと思いますし、身につくようにしっかりと支援していきたいと思っています。



様々な体験学習をしています!

学校だより「槇の本葉」7月号(2023年7月18日発行 No.15)において、「百見は一体験に如かず」という造語を紹介しましたが、学校では学年ごとに様々な体験学習を行っています。ほんの1例を紹介します。

1年

新入生の保護者説明会の時、
新入生の体験入学を実施しました。

みんなお兄さん、お姉さんになって、
新入生をリードして、
一緒に楽しく過ごしました。



2年

町探検へ出かけました。お店の人にインタビューして、
たくさんの町の「ステキ」を集めました。

集めた「ステキ」は、みんなで
絵地図にまとめました。



3年

町の福祉課の協力で、
福祉体験をしました。

高齢者や車椅子、そしてアイマスクの体験をしました。サポートする時の声掛けの大切さに気づきました。



4年

奈良の伝統工芸である奈良筆づくりを体験しました。

伝統工芸士の方から作り方を教わりながら筆を作りました。伝統に触れるいい機会となりました。



5年

社会科で、色々な工場のお話を聞きました。

実際にプラモデルを組み立てたり、
醤油博士を招いて、醤油の作り方や味見体験をしたりもしました。



6年

県下の多くの先生が音楽の授業の様子を参観に来られました。

緊張しながらも、グループごとに相談した楽器での「テキーラ」の演奏に挑戦していました。

